

専念寺通信

専念寺通信

十月号 (NO. 98)

<http://sennenji.s296.xrea.com/>

朝晩めっきり冷え込むようになり、セミの声のかわりに、夕暮れには虫の音が聞こえるようになり、たしかに秋がやって参りました。

☆秋のお彼岸

9月20日から26日までが秋のお彼岸でした。週末とお中日が続きましたので、毎日たくさんの檀家さまがお墓参りにいらっしゃいました。雨の日、風の日もありましたが、芳名帖に記帳してくださった方だけで、1週間を通じて270件を数えました。年配の檀家さまが、ご長男夫婦、お孫さんを連れておいでくださるケースが増えました。次の世代に、先祖を守ることの大切さを着実に伝えていらっしゃる様子が、私共にもしみじみと感じられた今年の秋の彼岸でした。

彼岸花は、今年は例年より早く、入りの日から開きはじめ、檀家さまがお持ちくださった「白い彼岸花」も一輪、みごとに咲きました。また、彼岸の前に恒例の子供神輿が専念寺に来ました。その写真を掲載させていただきます。

永代供養塔「寂静・じゃくじょう」をご覧になり、「以前よりひろびろとして良いですね。」と言っていただき、希望されるかたからの問い合わせのあったこともうれしいニュースのひとつでした。東京の新宿という、

交通の便のよい場所にある私共の寺が、少しでもみなさまのお役にたてばといつも思っております。郊外にある、公園のような墓地もよいのですが、こじんまりとして、心のこもった、静かな会話のある寺の良さを大事に守って行きたいと感じております。

☆**小さなお知らせ**：1年半勤めておりました女性スタッフ、高橋が10

月末で寺をやめ、放送関係の仕事につくことが決まりました。若い人が次のステップへと進んでいくことを、祝って送り出してやりたいと思います。11月からは、檀家さまにご不便をかけぬよう、残りのスタッフ清水と家族一同で、必ずいつでも寺に誰かがいるよう、文字通り、年中無休で努めさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

気温差の大きい今年の秋、みなさま、体調を崩されぬよう、たいせつにお過ごし下さい。
平成20年10月1日
大黒

